【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公開番号】特開2018-20464(P2018-20464A)
【公開日】平成30年2月8日(2018.2.8)
【年通号数】公開・登録公報2018-005
【出願番号】特願2016-151526(P2016-151526)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　13/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/165　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　19/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/00　Ａ
Ｂ４１Ｊ　13/00
Ｂ４１Ｊ　2/01　３０３
Ｂ４１Ｊ　2/01　３０５
Ｂ４１Ｊ　2/165　２０７
Ｂ４１Ｊ　2/165　３０１
Ｂ４１Ｊ　19/20　Ｎ

【手続補正書】
【提出日】令和1年6月25日(2019.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
記録ヘッド１２は、キャリッジ１１の底部に設けられている。記録ヘッド１２はインクを吐出する複数の吐出口を備え、搬送ユニット３０により搬送される記録媒体に対して、インクタンク５から供給されるインクを吐出して画像を記録する。本実施形態の場合、記録ヘッド１２は、Ｘ方向に配置された記録ヘッド１２Ａと記録ヘッド１２Ｂとを含み、各記録ヘッド１２Ａ、１２Ｂは異なる種類のインクを吐出する。記録ヘッド１２Ａは例えば顔料の黒インクを吐出し、記録ヘッド１２Ｂは例えば染料の各色のインクを吐出する。インクの吐出口が形成された面をインク吐出面と呼ぶ場合があり、本実施形態の場合、記録ヘッド１２Ａおよび１２Ｂの各下面がインク吐出面である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
図４（Ｂ）は、回復駆動部材５５が位置Ｘ２に変位した状態を示している。この状態では、回復駆動アーム６１１が回動してギア６１ｅがギア６１ｆに押し付けられ、両者が係合している。したがって、搬送ローラ３１の回転は、ギア３１ａ→ギア６１ａ→ギア６１ｂ→ギア６１ｃ→ギヤ６１ｄ→ギア６１ｅ→ギア６１ｆと伝達される。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７６】
Ｓ３では、駆動源２５の駆動により選択部材２９を非連動位置に位置させる。Ｓ４ではキャリッジ１１を位置Ｘ１から位置Ｘ２へ移動する。これにより回復駆動部材５５が位置Ｘ１から位置Ｘ２へ変位し、回復ユニット５０に駆動源３２から駆動力が伝達可能な状態となる。Ｓ５ではキャップ５１による負圧吸引、ワイパ５２によるワイピング等を行う。Ｓ６ではキャリッジ１１を位置Ｘ１に戻す。